

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：主要農作物対策費

事業名 水田フル活用実践指導費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 水田経営係 電話番号：058-272-1111(内4117)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,900 千円 (前年度予算額： 2,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,000	2,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,900	1,900	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・国民の主食である米の安定供給、食料自給率の向上、多面的機能の維持強化等を図るため、水田を最大限に有効活用することが重要である。
- ・水田活用のため、国は経営所得安定対策等の交付金を交付しており、その実施に当たり、県及び地域段階で農業再生協議会を設立した上で適正な運営が求められている。
- ・県は、水田収益力強化ビジョンの策定や、市町村及び地域農業再生協議会の活動を支援する役割を担っている。

(2) 事業内容

①事業目的

市町村及び地域農業再生協議会に対し、経営所得安定対策等の普及・推進や必要な支援を行う。

②事業内容

- ・経営所得安定対策等の普及推進活動
- ・需要に応じた作物の生産方針等の策定
- ・産地交付金の要件設定・確認、市町村等に対する指導
- ・その他経営所得安定対策等の円滑な実施に必要な活動
- ・コメ新市場開拓等促進事業の円滑な実施に必要な活動
- ・畑作物産地形成促進事業の円滑な実施に必要な活動 等

(3) 県負担・補助率の考え方

全額国費（経営所得安定対策等推進事業費補助金を活用）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	310	活動旅費
需用費	640	消耗品費、燃料費
役務費	800	通信運搬費
使用料	150	E T C 使用料
合計	1,900	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

- ・ 経営所得安定対策等実施要綱
- ・ 経営所得安定対策等推進事業費補助金交付要綱

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 ・県の水田収益力強化ビジョンの策定や、市町村及び農業再生協議会が行う経営所得安定対策等の円滑な普及・推進等の支援により、水田を有効に活用し、米の安定供給、食料自給率の向上、水田の多面的機能の維持強化等を継続的に図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
水田収益力強化 ビジョンの策定 (県及び地域農 業再生協議会)	39	39	40	40	40	98%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・需要に応じた生産が行われるよう米の生産指標の提示等を行った。 ・行政と農業者団体等が協力して制度を推進し、経営所得安定対策等の加入推進活動や、水田フル活用の推進に向けた地域巡回活動を実施した。 ・主食用米から、加工用米、麦・大豆等の転換が進み、需要に応じた生産による水田をフルに活用する取り組みが進んだ。
	指標 目標：策定数39 実績：策定数39 達成率：100%
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・需要に応じた生産が行われるよう米の生産指標の提示等を行った。 ・行政と農業者団体等が協力して制度を推進し、経営所得安定対策等の加入推進活動や、水田フル活用の推進に向けた地域巡回活動を実施した。 ・生産者が需要に応じた生産を行うための体制を整備した。
	指標 目標：策定数39 実績：策定数39 達成率：100%
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・需要に応じた生産が行われるよう米の生産指標の提示等を行った。 ・行政と農業者団体等が協力して制度を推進し、経営所得安定対策等の加入推進活動や、水田フル活用の推進に向けた地域巡回活動を実施した。 ・生産者が需要に応じた生産を行うための体制を整備した。
	指標① 目標：策定数39 実績：策定数39 達成率：100%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	米の安定生産に向け、経営所得安定対策等の推進活動の必要性が増している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	水田収益力強化ビジョンの策定や経営所得安定対策等の交付金に係る事務等、県が必要な活動を適正に実施した。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	行政と農協等関係団体が協力して、農業者に対して、制度を推進する体制となっていることより効率化は図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・米の安定生産に向け、米の生産指標の提示や県の水田収益力強化ビジョンの策定について、県の実情に即し行っていく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・経営所得安定対策等を引き続き推進する必要があるため、継続すべきである。 ・米の安定生産が求められているため、経営所得安定対策等の交付金を活用し、水田の有効活用を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	